

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2006-228129(P2006-228129A)
 【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報2006-034
 【出願番号】特願2005-44318(P2005-44318)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 19/07 (2006.01)
 B 4 2 D 15/10 (2006.01)
 G 0 6 K 17/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 H
 B 4 2 D 15/10 5 2 1
 G 0 6 K 17/00 F
 G 0 6 K 17/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月4日(2009.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

他の通信装置との所定時間内の非接触通信の回数を確認する確認手段と、前記確認手段により確認した回数に応じて、前記非接触通信するデータを変える通信手段と、
を有することを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記確認手段は、前記非接触通信の際に前記他の通信装置との認証のための情報に基づいて、前記他の通信装置との非接触通信の回数を確認することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】

前記確認手段は、前記非接触通信の際に前記他の通信装置との認証のための情報と、前記他の通信装置との認証処理の際に通信する時間情報とに基づいて、所定時間内の非接触通信の回数を確認することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項4】

前記通信手段は、前記他の通信装置との1回目の通信か否かに応じて、前記非接触通信するデータを変えることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項5】

前記通信手段は、前記確認手段により確認した回数に応じて、前記非接触通信するデータのサイズを変えることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項6】

前記通信手段は、前記確認手段により確認した回数に応じて、サムネイルデータかオリジナルデータを通信する請求項1乃至5のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項7】

他の通信装置との所定時間内の非接触通信の回数を確認し、確認した回数に応じて、非

接触通信するデータを変えることを特徴とする通信装置。

【請求項 8】

通信装置の制御方法であって、

前記通信装置は、他の通信装置との所定時間内の非接触通信の回数を確認し、確認した回数に応じて、非接触通信するデータを変えることを特徴とする通信装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】非接触通信を行う通信装置及びその制御方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、非接触通信を行う通信装置において、非接触通信時における操作性を向上させる技術を提供し、ユーザの利便性を向上させることを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、他の通信装置との所定時間内の非接触通信の回数を確認し、確認した回数に応じて、非接触通信するデータを変えることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0021】

本発明によれば、ユーザは簡単な操作で、多種のデータを通信することができるため、操作性が向上でき、利便性が向上する。